



編集者 杉谷

8月になり暑い時期になりました！  
だんだん気温も上がり暑い日が続きますね！  
ワンちゃんを連れてお外に行く機会も増えてくると思います。そこで気を付けたいことは熱中症です！

人間と同様、ワンちゃん猫ちゃんも熱中症になります。対処が遅れると命に関わる危険性があり、熱中症にならないよう予防が大切です。室内にいる猫ちゃんもまれに熱中症になることがあります。お家の中だから大丈夫なんてことはありません。しっかりと対策をして、素敵な夏をお過ごしください★

## とっても大事！熱中症対策

犬・猫にとって高温多湿は熱中症のリスクを上げてしまいます。体温調整が苦手なので飼い主さんが常に気を配らなければなりません。

フレンチブルドッグ、パグ、ペキニーズなどの短頭腫がなりやすいよ



すぐに連れてきて！

### ～症状～

ぐったりしている  
息苦しそう  
ふらついている



41℃を超える高熱になると多臓器機能障害が起こることがあります。症状が落ち着いても動物病院で診てもらいましょう。

### ～応急処置～

涼しい場所へ移動し水分補給をさせましょう。  
保冷剤などを使用し、体を冷やします。  
首、脇、股などを冷やすと効果的です。  
可能なら冷やしながら病院へ向かいましょう。



### ～熱中症にならないために～

外にでる機会が多いワンちゃんの方が熱中症になるリスクが高いです。散歩中や車の移動中、ほかにも興奮して吠えている状態も暑い日には熱中症の危険があります。  
猫ちゃんは基本室内にいるので熱中症にならないと思われがちですが、家の中にも危険な個所はあるんです！猫ちゃんは狭い場所や、高いところを好んでダンスや冷蔵庫の上に登ってくつろいでいることが多いです。そういった場所は高温多湿になりやすいです。飼い主さんの知らないところで熱中症になってしまっているかもしれません！猫ちゃんがお気に入りの場所の室温をチェックしましょう。

#### 頻繁に外出するワンちゃん

散歩は涼しい時間にする  
水分をこまめにとる  
外で遊ぶ時間は短めに！  
クールネックやクールマットを活用する



#### 室内で生活する猫ちゃん

室温を確認する  
水飲み場を増やす  
体調チェックは頻繁に！  
家を留守にするときはクーラーを付け、室温が上がる場所を涼しくする